



# お お とり 大 鴻

令和3年 2月 24日

文責：校長 森脇 郷子

## 新学習指導要領に向けて研究授業

来年度より、中学校の新しい学習指導要領が実施されます。「学習指導要領」とは、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準で約10年に1度、改訂されます。新しい時代を生きる子どもたちに育成すべき資質・能力を三つの柱とし以下のように整理しています。

◇何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）

◇知っていること・できることをどう使うか

（思考力・判断力・表現力等）

◇どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

（学びに向かう力、人間性等）

これに伴い指導方法も工夫され、来年度から教科書や通知表などの評価項目も変わります。

附属中学校では、これに先駆けて、『「学びに向かう力」を育成する学習評価—自らの学びを振り返り、調整させる工夫—』をテーマに、研究を進めています。

1月27日に1年D組で体育「サッカー」、2月17日に2年C組で音楽「クラッピングラブソディ」の研究授業を行いました。コロナ禍で密を避けるため、運動場や武道場での授業でしたが、両授業とも生徒たちは主体的に様々な工夫をしながら、協働的な学びを深めました。



木梨先生体育授業「サッカー」



杉山先生音楽授業

## 1・2年体験学習発表会めざして

1年生は職業体験の代替として、農業や医療、ものづくり等、ふるさと大分で活躍する様々な分野の講師をお招きしてグループセッションを行いました。2年生は、修学旅行の代替行事として県内研修で学級別にダムや工場、美術館、遺跡などをめぐりました。また企業訪問としてZOOMを使ってのインタビュー活動を行いました。青垣祭に続き2月25日に、体験学習発表会で学びの集大成を報告します。



## 卒業プロジェクト 3年生奉仕活動

3年生は自分たちの姿をもって、附中生としての在り方を伝えようと、早朝の落ち葉清掃をはじめとした卒業プロジェクトに取り組んでいます。2月19日は2時間かけ校舎の清掃活動を行ってくれました。3年間お世話になった校舎と後輩への感謝の気持ちを込めて、全学年の教室や廊下の隅々、トイレや窓ガラスも拭き上げてくれました。1日1日を大切に過ごしている3年生。卒業しても美しい附属中学校であり続けるよう1・2年生が引き継ぎます。



心を込めて念入りに



椅子の裏まで美しく

## 学校評議員会を開催しました

2月16日に第2回学校評議員会を開催しました。授業参観の後、重点目標である「授業改善」「グローバル人材の育成」

「心の健康教育」「働き方改革」についての成果を報告しました。また、コロナ禍において、今年度「命を守り」「学びを保障」するための取り組みも報告しました。



学校評議員からのご意見の一部を紹介します。

○授業は、学習に対する集中力があり、グループ活動がよくできている。

○生徒の表情が非常に輝いていた。「何か言いたい」という生徒の意欲が伝わってきた。これが附属中生のいいところ。

○社会性が関連付けられている内容の授業が工夫されている。

○ダイバーシティ（多様性）が近年重要視されている。色んな人を認める、個人を認める、堂々と意見を言える生徒の育成が大切。間違ってもいいから言うという訓練が大事。

○体力作りが大切。受験に向けて学力だけではなく、体力をつけさせることも重要。

## ◇◇◇ 3月の諸活動 ◇◇◇

- 3/4 お別れ会
- 3/5 附中第70回卒業証書授与式
- 3/9 県立1次入試 1・2年PTA
- 3/12 県立高校合格発表
- 3/18 附中修了式
- 3/30 離任式（ZOOM 予定）